

# HP Systems Insight Manager内の HP BladeSystem Integrated Manager



**381270-193**

**2005年7月, 3 版**

©Copyright 2004-2005 Hewlett-Packard

---

# 目次

法的な注意事項	4
保証	4
制限つき権利の一覧	4
著作権表示	4
商標に関するお知らせ	4
リリース履歴	5
概要	6
HP BladeSystem Integrated Managerの新機能	6
関連プロシージャ	6
関連トピック	6
HP BladeSystemページの概要	6
[HP BladeSystem]ページの概要	6
関連プロシージャ	7
関連トピック	7
ツリー ビュー	8
ツリー ビューの展開	8
ツリー ビューでの選択	9
ツリー ビューのステータス	9
利用可能なドリルダウン	9
収集の選択状態	9
ツリー ビューのボタン	10
関連トピック	10
アイコン ビュー	11
関連トピック	11
テーブル ビュー	13
システム ビューの列	13
選択	13
システム名	13
ヘルス ステータス	15
管理プロセッサ	15
ソフトウェア ステータス	15
ProLiant Essentials Performance Management Pack	15
ProLiant Essentials Vulnerability and Patch Management Pack	16
HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack	16
システム タイプ	17
オペレーティング システム名	17
システム アドレス	17
製品名	17
システム リストのボタン	18
関連トピック	18
p-Classラック	19
関連プロシージャ	19
ラック ビュー ページ	19
関連プロシージャ	21
p-Class/e-Classエンクロージャ	22
関連プロシージャ	22
エンクロージャ ビュー ページ	22
関連プロシージャ	23
システム ページ	24
関連トピック	24

[識別]タブ	24
システム ステータス	24
識別情報	25
製品説明	25
関連	26
関連トピック	27
[ツール&リンク]タブ	27
[システム マネジメント]ページ	27
[システムWebアプリケーション]ページ	27
[HP Systems Insight Manager]ページ	27
関連トピック	28
[イベント]タブ	28
イベント ステータスの凡例	29
イベントの詳細	29
イベント収集の列	29
選択	29
状態	29
深刻度	30
イベント タイプ	30
システム名	30
イベント時間	30
担当者	30
コメント	30
イベント管理のボタン	31
関連プロシージャ	31
関連トピック	31
[パフォーマンス]タブ	31
関連トピック	32
用語集	33
索引	36

---

# 法的な注意事項

機密コンピュータ ソフトウェアです。所有、使用、コピーには、有効なライセンスをHPから取得する必要があります。FAR 12.211と12.212に準拠して、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータソフトウェア文書、商用項目の技術データは、ベンダの標準商用ライセンスで米国政府にライセンス供与されます。

ここに掲載されている情報は、通知することなく変更されることがあります。HP製品とサービスの唯一の保証は、製品とサービスに付属する、明示的な保証声明で規定されます。ここに掲載される情報は、その他の保証を構成するものとして解釈されません。HPは、ここに含まれる、技術的または編集上の誤りや不作為の責任を負いません。

## 保証

HP製品に適用される特定保証条項の複写、および交換部品は、最寄の販売保守事務所から入手できます。

## 制限つき権利の一覧

米国政府による使用、複製、開示は、DOD機関用のDFARS 252.227-7013に記述されているRights in Technical Data and Computer Software条項のサブパラグラフ(c)(1)(ii)、およびその他の機関用のFAR 52.227-19に記述されているCommercial Computer Software Restricted Rights条項のサブパラグラフ(c)(1)と(c)(2)に規定されている制限を受けます。

HEWLETT-PACKARD COMPANY  
3000 Hanover Street  
Palo Alto, California 94304 U.S.A.

このパックで提供される、この文書とすべての支援ソフトウェアメディアの使用は、この製品のみで制限されます。プログラムのコピーは、セキュリティとバックアップのみを目的として作成できます。現在の形式で、または変更してプログラムを再販売することは、明示的に禁止されています。

## 著作権表示

© Copyright 2004-2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

## 商標に関するお知らせ

すべてのHP 9000コンピュータのHP-UX 10.20およびそれ以降と、HP-UX 11.00およびそれ以降(32ビット構成および64ビット構成の両方)は、Open Group UNIX 95ブランド製品です。

Intel、Celeron、Itanium、Pentium、Xeonは、米国とその他の諸国における、Intel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Javaは、米国における、Sun Microsystems社の商標です。

Linuxは、米国における、Linus Torvaldsの登録商標です。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国における、Microsoft Corporationの登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

## リリース履歴

バージョン2.0、2005年7月

新バージョンが使用可能になったときに新バージョンを受け取るため、適切な製品サポートサービスを受けてください。詳細については、HP販売担当者にお問い合わせください。

---

# 概要

HP Systems Insight Manager (HP SIM) 内のHP BladeSystem Integrated Managerは、ブレードコンピュータシステム、データおよびストレージ ネットワークへの統合接続、ならびに共有電源サブシステムで構成されます。HP BladeSystem Integrated Managerを使用すると、ご使用のHPブレード環境（サーバブレード/デスクトップ、エンクロージャインフラストラクチャ、ラック、統合スイッチなど）を階層型ツリービューによって素早く操作することができます。これにより、個々のブレードシステムまたはブレードシステムグループを簡単に設定し、配備し、管理することができます。

**[HP BladeSystem]**ページにアクセスするには、HP Systems Insight Managerのメニューバーで、**[ツール]>[内蔵コンソール]>[HP BladeSystem]**の順に選択するか、**[システムおよびイベント]**パネルで、システム\共有\タイプ別システム\HP BladeSystemを選択してください。

## HP BladeSystem Integrated Managerの新機能

HP BladeSystem Integrated Manager 2.0は、HP BladeSystemの最新コンポーネント（ProLiant BL45pサーバブレード、25pワークステーション、Brocade 4Gb SANスイッチ、Mcdata 4Gb SANスイッチ、1Uパワーエンクロージャなど）のサポートに加えて、拡張ブレードフロント/バックビュービジュアル表示、電源/温度ステータス、およびその他の拡張機能を提供します。

## 関連プロシージャ

- HP BladeSystemページの概要

## 関連トピック

- p-Class/e-Classエンクロージャ
- p-Classラック
- ツリービュー
- テーブルビュー
- アイコンビュー

## HP BladeSystemページの概要

### [HP BladeSystem]ページの概要

**[HP BladeSystem]**ページは、p-Classコンポーネント（p-Classブレード、スイッチ、エンクロージャ、ラック）用の「すべてのp-Classラック」とCCI（Consolidated Client Infrastructure）ブレードPCおよびe-Classコンポーネント（e-Classブレード、エンクロージャ）用の「すべてのe-Classエンクロージャ」を表示するツリービューにデフォルト設定されています。1つまたは複数のコンポーネントを選択することができます。すべてのHP BladeSystemコンポーネントを選択するには、**["HP BladeSystem"自体を選択]**チェックボックスを選択してください。**[HP BladeSystem]**ページは、ツリービュー、アイコンビュー、またはテーブルビューで表示することができます。

## 関連プロシージャ

- p-Class/e-Classエンクロージャ
- p-Classラック

## 関連トピック

- ツリービュー
- テーブルビュー
- アイコンビュー

# ツリー ビュー

ツリービューは、ブレード コンポーネント（ラック内のエンクロージャ内部のブレードなど）の実際の物理的階層構造を示すもので自動的に生成されます。このビューは、コンポーネントの収集を作成して利用するのに適しています。

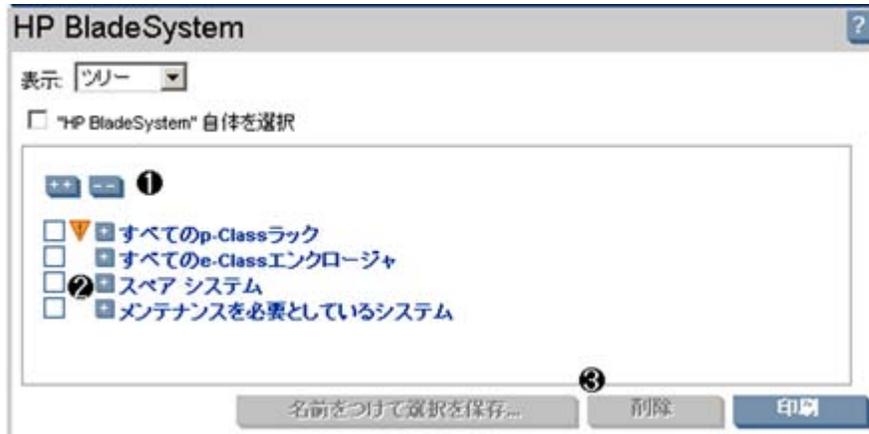
## 注記:



旧バージョンのHP BladeSystem Integrated Manager（2.0より前のバージョン）では、「フォルダ」という用語が使用されていました。旧バージョンの製品でフォルダと呼ばれていたものは、HP BladeSystem Integrated Manager 2.0で収集と呼ばれるものと同じです。

[システムおよびイベント]パネルまたは[HP BladeSystem]ページでHP BladeSystemコンポーネントまたは収集が選択されていると、HP SIMの作業領域にツリー ビューが表示されます。ツリービューは、最初は折り畳まれています。システムは、複数の収集に存在する場合がありますので、複数の位置に表示されることがあります。ユーザは、参照権限があるシステムだけを表示できます。このため、ツリーに含まれる特定のシステムの参照権限がないと、そのブランチは表示されません。ツリー ビューでは、以下のセクションを使用することができます。

1. ツリー ビューの展開
2. ツリー ビューのステータス
3. ツリー ビューのボタン



## ツリー ビューの展開

各ツリー ビューの上部には、2つの展開ボタンがあります。ツリーのすべての項目を展開するには、**++** をクリックします。ツリーのすべてのブランチを第1レベルのブランチに折り畳むには、**--** をクリックします。システムの数が多すぎて、すべてのブランチを展開したページにロードできない場合は、ツリーに含まれるシステムが多すぎるために機能を実行できないことを示すポップアップ メッセージが表示されます。

個別のブランチ システムは、展開 **+** アイコンをクリックして展開することができます。システムまたはコンポーネント自体のハイパーリンク化されている名前は、展開コントロールでは

なく、そのシステムに関する詳細情報を入手するためのドリルダウンです。ブランチが折り畳まれていると、アイコンはのように表示されます。クリックすると、ブランチが展開され、すべてのコンポーネント内容が表示され、アイコンはに変わります。アイコンをもう一度クリックすると、ブランチが折り畳まれて、アイコンが元に戻ります。

## ツリー ビューでの選択

次のチェックアイコンを使用すると、ツリービューの選択コントロールが順番に4つの状態に変化します。



最初の初期状態です。何も選択されていません。



2番目の状態です。コンテナとその内容の両方が選択されています。内容がまだ展開されていない場合は、次のレベルの内容が展開され、選択されていることが示されます。



3番目の状態です。コンテナの内容すべてが再起的に選択されています。内容が展開されていない場合は、内容が展開され、選択内容が表示されます。次の階層だけが展開されます。



4番目の状態です。収集だけが選択されています。

## ツリー ビューのステータス

ツリービューは、各システムのステータス データを表示します。ステータス アイコンは、ツリービューの左側の選択チェックボックスの横にあります。システムのステータスが「不明」の場合は、ステータスアイコンが表示されません。システムが収集の場合、ステータスは収集名の左に、収集に含まれるシステムの最も重要なステータスとして表示されます（収集ステータスを含みます）。収集自体のステータスは、システム名の右に、システム タイプ ラベルとともに表示されます。

## 利用可能なドリルダウン

ツリービューには、システム名のハイパーリンクとステータス アイコンのドリルダウンが含まれています。システム名をクリックすると、そのシステムの[システム ページ]が表示されます。

## 収集の選択状態

ツリービューでは、収集とその収集のメンバを同時に選択することはできません。収集が選択されると、メンバーが表示され、それらの選択ボックスは無効になります。収集の選択状態は、次のとおりです。



最初の初期状態です。何も選択されていません。



収集自体が選択され、収集の内容は無効になります。



収集のメンバーが選択されます。収集自体は選択されていません。

さらに、ツリーの上部になるチェックボックスを使用すると、表示されている収集を選択することができます。チェックボックスを選択すると、収集の下すべてのチェックボックスの選択が解除され、無効になります。チェックボックスを選択解除すると、収集の下にあるチェックボックスが選択可能になります。

## ツリー ビューのボタン

ツリー ビュー ページの下部には、3つのボタンがあります。完全な設定権があるユーザだけが、このボタンを使用できます。

- 名前を付けて選択を保存。選択されている1つのシステムがあり、選択内容を新しい名前で保存する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごと、あるいは収集ごとに保存されます。
- 削除。このボタンは、1つまたは複数のシステムをHP Systems Insight Managerデータベースから削除するために使用します。削除するシステムを選択し、削除をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。削除を続けるには、**OK**をクリックします。操作をキャンセルするには、キャンセルをクリックします。ツリー ビューが更新されます。

### 注記:



ツリー ビューからは、システムのみを削除できます。収集を選択すると、削除ボタンは無効になります。収集は、[収集のカスタマイズ]ページから削除してください。収集の削除については、『HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド』を参照してください。

- 印刷。印刷可能バージョンのツリーを表示するには、印刷をクリックします。ブラウザからツリーを印刷する場合は、[ファイル]>[印刷]を選択します。

ユーザに適切な権限がない場合、ボタンは無効になります。ただし、印刷ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

## 関連トピック

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- アイコン ビュー
- テーブル ビュー

# アイコン ビュー

アイコンビューでは、検出されるすべてのシステムの実際のシステム名が、各システムのシステムヘルスステータスとともに示されます。凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。システムを選択するには、この列のチェックボックスを選択します。複数のシステムを選択することができます。すべてのHP BladeSystemコンポーネントを選択するには、“**HP BladeSystem**”自体を選択チェックボックスを選択してください。



HP Systems Insight Managerでは、次のヘルス ステータス タイプのうちいずれかがシステムに含まれます。

❌ **クリティカル**。HP Systems Insight Managerが、このシステムとやり取りできなくなっています。システムは、以前に検出されていましたが、現在はpingできません。システムが停止しているか、電源が切れているか、ネットワークの問題のためにネットワーク経由でアクセスできなくなっています。

⚠ **メジャー**。このシステムに、ただちに処置が必要な重度の問題があります。HP Insightマネジメント エージェントを実行しているシステムの場合は、一部のコンポーネントで障害が発生しています。システムが正常に動作しておらず、データが消失している可能性があります。Insightマネージャ (WIN32) では、このステータスは、「**障害**」に分類されます。

⚠ **マイナー**。このシステムに、軽度の問題があります。HP Insightマネジメント エージェントを実行しているシステムの場合、一部のコンポーネントが故障していますが、システムはまだ機能しています。Insightマネージャ (WIN32) では、このステータスは、「**劣化**」に分類されます。

⚠ **警告**。システムに潜在的な問題があるか、問題が発生する可能性のある状態になっています。

✅ **正常**。システムは正常に動作しています。システムにアクセスできます。

❏ **無効**。システムは保留状態になっています。これにより、システムをステータス ポーリング、識別、データ収集、および自動イベント処理から除外することができます。[自動検出]ページで、[内蔵**Lights-Out**管理プロセッサを識別した場合、自動的にサーバーブレードを検出]を選択した場合、内蔵Lights-Outを通じて検出された新規サーバ（たとえば、オペレーティングシステムもIPアドレスも分からない）は、システムがIPアドレスまたはオペレーティングシステムとともに検出されるまでは、無効と表示されます。

❓ **不明**。HP Systems Insight Managerが、SNMPまたはDMIを使用して、システムに関する管理情報を取得できません。管理構成情報は取得できませんが、システムに対してpingを実行できます。コミュニティ名またはセキュリティの設定が間違っているか、システムに関連付けられていないIPアドレスの可能性があります。

ステータスなし。システムの検出後、システムに対してポーリング タスクを実行していません。

---

## 注記:

---



HP Insightマネジメント エージェント forサーバ for Windowsでは、「正常」、「劣化」、「障害」、「アクセス不能」という用語を継続して使用しています。[マイナー]ステータスと[メジャー]ステータスだけが、このエージェントを実行するシステムに関連付けられています。

---

① 情報。システムが暫定的な状態になっているか、エラーのない状態になっている可能性があります。

## 関連トピック

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- ツリー ビュー
- テーブル ビュー

# テーブル ビュー

テーブルビューでは、システム名およびタイプとソート情報が列に示されます。凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。テーブルビューについて詳しくは、『HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド』を参照してください。



## システム ビューの列

列を並び替えるには、列見出しをクリックして昇順か降順に並び替えます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。アイコンビューを選択していると、列は使用できません。以下を参照してください。

- 選択
- ヘルス ステータス
- 管理プロセッサ
- ソフトウェア ステータス
- ProLiant Essentials Vulnerability and Patch Management Pack
- システム名
- システム アドレス
- 製品名
- オペレーティング システム名

## 選択

システムを選択するには、この列のチェックボックスをオンにします。複数のシステムを選択できます。このオプションは、テーブルビュー、ツリービュー、およびアイコンビューで利用できます。表示するシステムをすべて選択または選択解除するには、列見出しのチェックボックスを選択します。すべてのHP BladeSystemコンポーネントを選択するには、**["HP BladeSystem"自体を選択]**チェックボックスを選択してください。

## システム名

この列には、検出されたすべてのシステムの実システム名が含まれます。システムは、単一システムまたはコンテナ内のシステムとして表示されます。カーソルをシステム名の上に移動させると、システムの完全なドメインネームサービス (DNS) 名が表示されます。これは、同じシステム名を共有する複数のシステムを区別するために役立ちます。システム名リンクをクリックすると、**[システム ページ]**が表示されます。コンテナ(ラックまたはエンクロージャ)であるシステムをクリックすると、そのオブジェクトのピクチャービューが表示されます。

[システム名]列には、システムと関連デバイスが表示されます。以下に、HP Systems Insight Managerで利用できる関係を示します。

- 管理プロセッサとサーバ
- サーバとエンクロージャ
- 管理プロセッサとエンクロージャ
- エンクロージャとラック
- スイッチとエンクロージャ
- システムとクラスタ

以下のシステム タイプはコンテナです。

- ラック
- エンクロージャ
- クラスタ

ラックとエンクロージャのサーバと管理プロセッサが検出かつ識別されると、システム、およびシステムが入っているラックとエンクロージャの間で、関係が確立します。この関係は、「システム タイプ」「コンテナ名」で「名前」を表示すると、システム テーブル ビュー ページの[システム名]列に表示されます。

[システム名]列でエンクロージャ名をクリックすると、そのエンクロージャ内で検出されたすべてのシステムのリストが表示されます。ラックとエンクロージャの両方のステータスは、常に「不明」です。

ブレードエンクロージャ内のスイッチが検出かつ識別されると、スイッチ、およびスイッチが設置されているエンクロージャの間で関係が確立します。この関係は、エンクロージャ「enclosure\_name」で「switch\_name」を表示すると、システム テーブル ビュー ページの[システム名]列に表示されます。[システム タイプ]列には、システム タイプとしてスイッチが表示されます。HP Systems Insight ManagerがHP ProLiant p-Classサーバブレードを適切に識別し、管理するには、関連とイベント相互関係を適切に機能させるために、HP Insightマネジメントエージェント 5.50以降がブレードにインストールされている必要があります。

サーバブレードが同じラックまたはエンクロージャ内の別のシステムを通じて識別されると、iLO、およびサーバブレードが設置されているエンクロージャとの間で関係が確立します。この関係は、エンクロージャ「enclosure\_name」で先頭に「Server」を追加したシステム シリアル番号を表示すると、システム テーブル ビュー ページの[システム名]列に表示されます。たとえば、「Server\_C349KJP5D876」：エンクロージャ「Encl4」のようになります。このシステムについては、システム アドレス、製品名、およびオペレーティング システムは表示されません。

HP Serviceguard Managerを起動してHP Serviceguardクラスタに含まれるサーバを管理する場合は、以下の条件が満たされていることを確認してください。

- HP Serviceguard Managerがインストールされ、HP Systems Insight Managerに登録されていること
- 選択されたシステムが、HP Serviceguardクラスタに含まれるHP-UXサーバまたはLinuxサーバであること

## ヘルス ステータス

ヘルス ステータスの列（「HS」で示される）には、全体的なシステム ステータスが表示されます。デフォルトのハードウェア ステータス ポーリング タスクによって判断されます。この列のステータス アイコンをクリックすると[HP マネジメント エージェント]または[HP Instant Tootools for Servers]ページが表示されます。システムにWebエージェントまたはInstant Tootoolsがインストールされていない場合は、[システム ページ]が表示されます。

表示されるコンテナシステム（Serviceguard、コンプレックスなど）のハードウェア ステータスは、コンテナ自体の実際のハードウェア ステータスです。クラスタについては、表示されるステータスは、pingステータスです。

## 管理プロセッサ

管理プロセッサの列（「MP」で示される）には、システムに内蔵Lights-Outボード（iLO）が取り付けられている場合、管理プロセッサのステータス アイコンが表示されます。そうでない場合は、情報アイコンが表示されます。ステータス アイコンをクリックすると、その管理プロセッサの[システム ページ]が表示されます。

## ソフトウェア ステータス

ソフトウェア ステータスの列（「SW」で示される）は、サーバ専用で、ソフトウェア更新の状況とその深刻度が表示されます。

ステータスが不明の場合にステータスがクリックされると、HP Systems Insight Managerには、[バージョン コントロール]ページが表示されます。

HPバージョン コントロール エージェントがシステムにインストールされている場合、そのシステムのソフトウェア ステータス アイコンをクリックすると、[HPバージョン コントロール エージェントソフトウェア インベントリ]ページが表示されます。バージョン コントロール エージェントがシステムにインストールされていない場合、カーソルをステータス アイコンに重ねると、「VCエージェントが設定されていません」というメッセージが表示されます。

## ProLiant Essentials Performance Management Pack

ProLiant Essentials Performance Management Pack（PMP）ステータスの列（「PF」で示される）には、システムで監視されているすべてのサブシステムの全体的なパフォーマンス ステータスが表示されます。この列のステータス アイコンをクリックすると、選択したシステムの[ProLiant Essentials Performance Management Pack]ページが表示され、さらに詳細なパフォーマンス情報が表示されます。

---

### 注記:



PMPがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、システム テーブル ビュー ページにこの列は表示されません。

---

PMPがサーバを監視していない場合、ステータスは「不明」です。ステータス リンクをクリックすると、PMPは、そのシステムを監視するためのライセンスの購入に関する情報のページが

表示されるか、そのシステムではPMP監視がサポートされていないというメッセージが表示されます。

---

**注記:**



**[PF]**列では、[すべてのサーバ]リストから、すべてのシステムに関するステータスが表示されます。ステータスが何らかの理由で判定できなかった場合、ステータスは「不明」に設定されます。

---

## ProLiant Essentials Vulnerability and Patch Management Pack

VPM脆弱性情報は、HP Systems Insight Managerコンソールの**[VPM]**列に表示されます。最初は、この列に示されるアイコンによって、特定の行のターゲットシステムに関するVPM適格情報が表示されます。ターゲットサーバにライセンスが付与され、脆弱性スキャンが実行されると、列には、ターゲットシステムで最後に実行された脆弱性スキャンの統合ステータスが表示されます（パッチステータスは列には表示されません）。アイコンをクリックすると、VPMに関するシステムステータスの詳細情報が表示されます。正常、マイナー、またはメジャーアイコンをクリックすると、最後に実行されたシステムのスキャンの結果にアクセスできる新しい情報ページが開きます。このページからは、新しいスキャンを実行することもできます。システムの不明アイコンをクリックすると、VPMに関する可能性のある理由を示す説明ページが表示されます。

---

**注記:**



VPMがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、システムテーブルビューページの**[VPM]**列に情報アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、VPMのインストール方法とライセンスの購入方法に関する情報が表示されます。

システムにライセンスが付与されていないか、まだシステムがVPMによってスキャンされていない場合は、情報アイコンが**[VPM]**列に表示されます。このアイコンをクリックすると、ターゲットシステムのライセンス取得の詳細情報と、HP Systems Insight Managerライセンスマネージャへのリンクが表示されるか、または脆弱性スキャンに関する情報と、ターゲットシステムでパッチ脆弱性をスキャンするためのリンクが表示されます。

## HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack

HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack (VMM) ステータス列（「**VM Status**」で示される）には、すべての仮想マシン ホストおよび仮想マシン ゲストの全体的なステータスが表示されます。**[VMステータス]**列のステータス アイコンをクリックすると、選択されているシステムの**[HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack]**ページが表示され、仮想マシンのステータスに関する詳しい情報が表示されます。

## 注記:



VMMがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、[すべてのシステム]システム テーブルビュー ページにこの列は表示されません。同様に、HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Packがインストールされていない場合、HP Systems Insight Managerコンソールで[VMステータス]は更新されなくなります。

タイプがサーバであり、サブタイプが仮想マシン ホストまたは仮想マシン ゲストであるシステムの場合、HP Systems Insight Managerでは、[VMステータス]列に適切なステータス アイコンを埋め込みます。

## システム タイプ

この列には、サーバやデスクトップなど、システム タイプが表示されます。システム タイプが「非管理」の場合、Simple Network Management Protocol (SNMP)、Webベース エンタープライズ管理 (WBEM)、デスクトップ管理インタフェース (DMI)、SSH (Secure Shell) などの管理プロトコルがHP Systems Insight Managerで検知されなかったことを意味します。システム タイプが「不明」の場合、管理プロトコルは検知されたが、HP Systems Insight Managerの識別ルールには一致しないことを意味します。

## 注記:



非管理対象システムは、システムと通信するために証明書が適切に設定されていないことを示す場合があります。HP Insightマネジメント エージェントがインストールされていることが分かっている場合は、使用されている証明書を確認してください。

## オペレーティング システム名

オペレーティング システム列（「OS名」で示される）には、システム上のオペレーティング システムが表示されます。Serviceguardクラスタでは、この列には、クラスタがHP-UXタイプの場合は[HP Serviceguard]が表示され、クラスタがLinuxタイプの場合は[HP Serviceguard for Linux]が表示されます。仮想クラスタ システム列の[OS名]列の下の[HP Serviceguard]および[HP Serviceguard for Linux]は、実際のオペレーティング システム名およびタイプを表していません。このフィールドは、クラスタを構成しているサーバが、それぞれ、HP-UXタイプかLinuxタイプかを示すために使用されます。

## システム アドレス

この列は、HP Systems Insight Managerがシステムとの通信に使用するシステムのプライマリIP アドレスを表示します。HP Serviceguardクラスタなどを含め、すべてのシステムがIPアドレスを持っているわけではありません。

## 製品名

この列には、システムの製品名が表示されます。

## システム リストのボタン

システム テーブル ビュー ページの下部にある3つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。ツールの使用時に個々のターゲット システムを選択した場合、これらのボタンは使用できません。

- 名前を付けて選択を保存。強調表示されている1つのシステムがあり、選択内容を新しい名前で保存する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごと、あるいは収集ごとに保存されます。
- 削除。このボタンは、1つまたは複数のシステムをデータベースから削除するために使用します。削除するシステムを選択し、削除をクリックします。ダイアログ ボックスが表示されます。削除を続けるには、**OK**をクリックします。操作をキャンセルするには、キャンセルをクリックします。
- 印刷。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]>[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

---

### 注記:

---

以下の機能はHP Systems Insight Managerではサポートされていません。

- [印刷]ダイアログ ボックスでは、[印刷の向き]を[横]に変更することができません（この問題の回避方法については『HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド』の「印刷の問題」を参照してください）。
- 印刷ジョブの実行開始後に印刷をキャンセルすることはできません。ただし、オペレーティング システムの印刷キューにアクセスし、印刷ジョブをキャンセルすることは可能です。
- ファイルに印刷できません。
- 選択されたシステムに関する情報が印刷できず、システムのリスト全体のみが印刷可能です。
- 印刷要求の発行直後にブラウザを閉じた場合、システム テーブルビュー ページは印刷されません。



ユーザに適切な権限がない場合、ボタンは無効になります。ただし、印刷ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

## 関連トピック

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- アイコン ビュー
- ツリー ビュー

# p-Classラック

すべてのp-Classラックにアクセスするには、ツリービューで[すべてのp-Class Racks]をクリックします。すべてのp-Classラックおよびエンクロージャが表示されます。ラック名を展開すると、すべてのp-Classラックおよびそのコンポーネント（p-Classサーバブレード、インターコネクトスイッチ、およびサーバブレードエンクロージャ/パワーエンクロージャ）がツリービューに表示されます。



## 関連プロシージャ

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- ツリービュー
- ラックビューページ

## ラックビューページ

ラックを表示するには、[すべてのp-Class Racks]でラックの名前をクリックします。[ラックビュー]ページが、ピクチャビューに表示されます。ラックのピクチャビューページには、ラック内の対応するエンクロージャおよびパワーエンクロージャに搭載されている検出されたシステムのイメージが含まれています。



[ラック ビュー]ページには、以下の情報が示されます。

- ヘッダ内にラック名
- 括弧内にシステム タイプ (ラック)
- ヘルプ リンク
- 複数選択が可能な以下のチェック ボックス
  - [すべてのブレード]
  - [すべてのインターコネクト スイッチ]
- ラック内の各エンクロージャについての折り畳み可能なトレイ (タイトルバーにエンクロージャのステータスと名前)
- 選択可能なすべてのアイテム上に選択チェック ボックス
- ステータスを持つすべてのアイテム上にステータス アイコン
- そのシステムの[システム ページ]への各ブレードまたはスイッチのハイパーリンク
- 画像の右側に、以下の項目を含むエンクロージャの詳細情報
  - ヘルス ステータス
  - エンクロージャ名
  - シリアル番号
  - UUID
  - ファームウェア リビジョン
  - 電源ゾーン
  - ユニットID (LED)
  - 温度
- 電源および温度情報
 

注記: エンクロージャは、パワー エンクロージャを使用するラック内の少なくとも1つのiLOがバージョン1.80以上のファームウェアを搭載している場合に強調表示されます。

  - エンクロージャ名

- シリアル番号
- UUID
- ファームウェア リビジョン
- 電源ゾーン
- ユニットID (LED)
- 負荷均衡化線
- ラックおよびエンクロージャ ビュー内の[最終更新日]リンク

---

### 注記:

---



表示される時刻は、ページが最後に更新された時刻です。データは5分ごとに更新されます。また、ユーザが5分間隔ごとに1回更新することもできます。ブラウザの更新ボタンを押しても、ラック/エンクロージャ ビューの日付は更新されません。

---

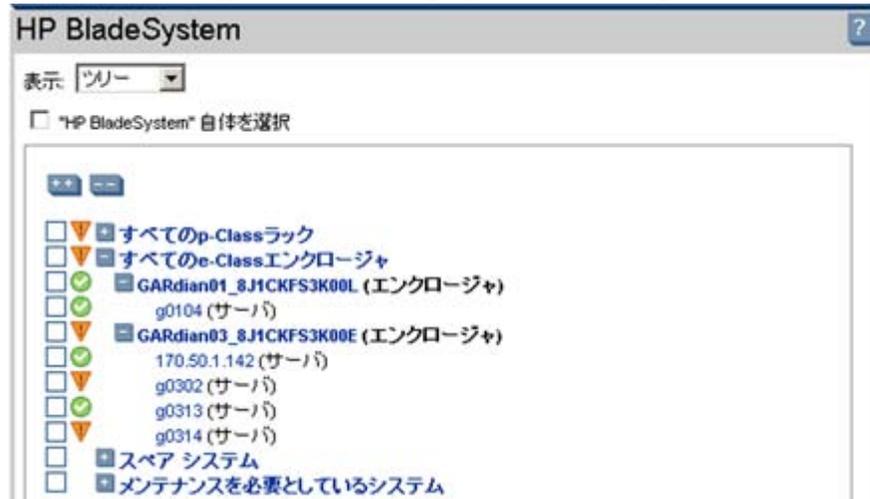
HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem Integrated Managerにログインしているときに、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねると、特定のコンポーネントに関する情報が表示されます。スロット番号/ベイ番号、ブレードサーバ名/IPアドレス、製品モデル、サーバが搭載されているエンクロージャなど、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。ベイに何も取り付けられていない場合は、空きベイとして表示されます。パワーエンクロージャのファームウェアが1.80よりも古い場合は、エンクロージャの各ベイに疑問符が表示されます。そのベイの上にカーソルを移動させると、ファームウェアの1.80以上へのアップグレードを推奨するメッセージが表示されます。また、コンポーネントをクリックすると、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。[システム ページ]が表示されます。詳細については、「システム ページ」を参照してください。

## 関連プロシージャ

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- p-Classラック
- ツリー ビュー

# p-Class/e-Classエンクロージャ

すべてのe-Classエンクロージャにアクセスするには、ツリービューで[すべてのe-Class Enclosures]をクリックします。CCIブレードPC、e-Classサーバブレード、Integrated Administrator（エンクロージャ管理）、エンクロージャなどのコンポーネントは、[すべてのe-Class Enclosures][システム ページ]の[管理プロセッサ]セクションにあります。



## 関連プロシージャ

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- ツリービュー
- p-Class/e-Classエンクロージャ

## エンクロージャビューページ

エンクロージャまたはパワーエンクロージャを表示するには、[すべてのp-Class Racks/すべてのe-Class Enclosure]ツリービューでエンクロージャの名前をクリックします。[エンクロージャビュー]ページが、ピクチャビューに表示されます。エンクロージャのピクチャビューページには、検出されたエンクロージャとそのエンクロージャに搭載されている検出されたサーバのイメージが含まれています。

- システムステータス
  - ヘルスステータスアイコン
- 識別情報
  - シリアル番号
  - UUID
  - ラック名 (ハイパーリンク)
  - ファームウェアリビジョン
  - 電源ゾーン
  - ユニットID (LED)
  - 温度

パワー エンクロージャを使用するラック内の少なくとも1つのiLOがバージョン1.80以上のファームウェアを搭載している場合、パワー エンクロージャの[エンクロージャ ビュー]には、以下の情報が表示されます。

- 電源および温度情報
  - 負荷均衡化線
- パワー サプライ ユニット
  - ベイ番号
  - ファームウェア リビジョン
  - AC入力
  - 入力温度
  - 入力温度障害
  - 入力温度トリップ
  - 出力温度
  - 出力温度障害
  - 出力温度トリップ

注記：エンクロージャは、パワー エンクロージャを使用するラック内の少なくとも1つのiLOがバージョン1.80以上のファームウェアを搭載している場合に強調表示されます。

HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem Integrated Managerにログインしているときに、カーソルを、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねると、特定のコンポーネントに関する情報が表示されます。スロット番号/ベイ番号、サーバブレード名/IPアドレス、製品モデル、サーバが搭載されているエンクロージャなど、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。ベイに何も取り付けられていない場合は、空きベイとして表示されます。パワー エンクロージャのファームウェアが1.80よりも古い場合は、エンクロージャの各ベイに疑問符が表示されます。そのベイの上にカーソルを移動させると、ファームウェアのアップグレードを推奨するメッセージが表示されます。ピクチャ ビューのコンポーネントをクリックすると、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。[システム ページ]が表示されます。詳細については、「システム ページ」を参照してください。ただし、ピクチャ ビューのコンポーネントに関して表示されるステータス アイコンをクリックする場合は、[エンクロージャ ビュー]ページのままです。

## 関連プロシージャ

- 概要
- HP BladeSystemページの概要
- p-Class/e-Classエンクロージャ
- ツリー ビュー

---

# システム ページ

[システム ページ]は、特定のシステムに関する情報を表示するために使用されます。このページには、以下のタブが表示されます。

- **[識別]タブ**。一般システムとステータスの情報が表示されます。このタブの詳細については、『[HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド](#)』を参照してください。
- **[ツール&リンク]タブ**。[システム マネジメント]ページへのリンク、HP Systems Insight Managerページへのリンク、およびその他のツールや情報へのリンクがあります。このタブの詳細については、『[HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド](#)』を参照してください。
- **[イベント]タブ**。システムのイベント テーブル ビュー ページが表示されます。このタブの詳細については、『[HP Systems Insight Managerテクニカル リファレンス ガイド](#)』を参照してください。
- **[パフォーマンス]タブ**。システムのパフォーマンスに関する全般的な情報が表示されます。詳細については、「[パフォーマンス]タブ」を参照してください。

[システム ページ]にアクセスするには、次の手順を実行します。

システム テーブル ビュー ページの[システム名]列でシステム名をクリックします。

## 関連トピック

- [識別]タブ
- [ツール&リンク]タブ
- [イベント]タブ
- [パフォーマンス]タブ
- 概要

## [識別]タブ

[識別]タブでは、ステータス アイコンによって、データベースに保存されている全体的なヘルス ステータスが示されます。システムが保留状態になっていると、ハードウェア ステータス アイコンおよびソフトウェア ステータス アイコンの代わりに、無効アイコンが表示されます。[システム ステータス]セクションには、システム ステータスに関する詳細情報が含まれています。

[識別]ページは、次のセクションに分かれています。

- 「システム ステータス」
- 「識別情報」
- 「製品説明」
- 「関連」

## システム ステータス

このセクションには、以下の情報が表示されます。

- **ヘルス ステータス** システムの全体的なステータスです。この情報は、Web-Based Enterprise Management (WBEM)、Simple Network Management Protocol (SNMP)、デスクトップ管理インタフェース (DMI) ステータス ポーリング タスク、またはこれらすべて

から取得されます。ping (ICMPまたはTCP到達可能性テスト) は、常に実行されます。[ヘルス ステータス]リンクをクリックすると、System Management Homepage (SMH) が存在する場合にはSMHにアクセスし、SMHが存在しない場合には[プロパティ ページ ステータス]ページにアクセスします。どちらも存在しない場合、[ヘルス ステータス]リンクは表示されません。

- **ソフトウェア ステータス** ソフトウェア ステータス アイコンは、使用可能な場合、システム ソフトウェア バージョン コントロール エージェントにリンクします。
- **管理プロセッサ ステータス** 管理プロセッサ ステータスは、使用可能な場合、管理プロセッサのWebサーバにリンクします。
- **無効なステータス** システムが保留状態になっていると、システム テーブル ビュー ページの[HW]および[SW]列に無効アイコンが表示されます。
- **脆弱性ステータス**

## 識別情報

このセクションは、初めて[システム ページ]にアクセスすると展開されます。

---

### 注記:



このセクションは、**+**および**-**をクリックして、展開したり、折り畳んだりすることができます。

---

このセクションには次の項目が含まれています。

- **アドレス**。システムについて検出されるIPアドレス、IPXアドレス、またはその両方です。
- **任意のシステム名**。システムの表示名です。利用可能な場合は、DNSからのホスト名にデフォルト設定されます。この名前は、[ツール&リンク]タブの[システム プロパティの編集]リンクを使用して変更することができます。
- **ネットワーク名**。利用可能な場合は、完全修飾DNS名です。IPアドレスによるDNSの逆引きが有効になっており、正引きと一致する必要があります。
- **UUID**。システム上のエージェントまたはその他のコンポーネントからの固有IDです。
- **シリアル番号**。システムのシリアル番号です。

## 製品説明

---

### 注記:



このセクションは、**+**および**-**をクリックして、展開したり、折り畳んだりすることができます。

---

このセクションには、以下の情報が表示されます。

- **製品ID**。サーバのシリアル番号に追加すると、HPサポートがHP製システムを特定できるようになるID番号です。
- **システム タイプ**。識別によって返される基本システム タイプです。
- **システム サブタイプ**。識別によって返されるシステム サブタイプです。
- **製品モデル**。識別によって返されるシステム サブタイプです。
- **ハードウェア説明**。[システム プロパティの編集]ページから得られるハードウェアの説明です。
- **OS名**。システムの長いオペレーティングシステム名です。オペレーティングシステムベースのシステム収集でフィルタリングに使用されます。
- **ツール フィルタリングのためのOS**。短いオペレーティング システム名です。ツール フィルタリング定義ファイルに使用されます。
- **OS説明**。オペレーティング システムの詳しい説明です。サービス パック情報などです。
- **OSバージョン**。オペレーティング システム バージョンの数値表現です。
- **管理プロトコル**。スイッチの識別を試みた際に応答した管理プロトコルです。
- **サーバ ロール**。オプションです。

注記：より多くのプロトコルが予想される場合は、[システム プロトコル設定]ページで設定されている証明書を検証してください。

---

### 注記:

---



ベア メタル ブレードについてはシステム タイプおよびサブタイプは表示されません。また、iLOファームウェア バージョンは 1.75未満です。

---

## 関連

このセクションには、以下の情報が表示されます。

- **エンクロージャ名** システム (ap-Classサーバブレードなど) がエンクロージャに取り付けられている場合のエンクロージャ名です。
- **ラック名** エンクロージャが検出可能なラックに取り付けられている場合のラック名です。
- **スロット** エンクロージャ内でシステムが配置されているスロット番号です。
- **サーバ寸法** 利用可能な場合は、システムのミリメートル単位の寸法です。

## 関連トピック

- 概要
- [パフォーマンス]タブ
- [イベント]タブ
- [ツール&リンク]タブ

## [ツール&リンク]タブ

表示できるシステムリンクは、検出設定、エージェントやプロトコルの適切なインストール、およびシステムに問い合わせるポーリング タスクによって異なります。[ツール&リンク]ページには、以下のページが含まれます。

- 「[システム マネジメント]ページ」
- 「[システムWebアプリケーション]ページ」
- 「[HP Systems Insight Manager]ページ」

## [システム マネジメント]ページ

このセクションには、システム上のHTTP Web管理によって提供されるリンクが含まれます。このリンクは、システム管理とステータス用です。システムにHP Insightマネジメント エージェントがない場合、このセクションは表示されません。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- **HPバージョン コントロール エージェント**
- **HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ**
- **HP Insightマネジメント エージェント**

## [システムWebアプリケーション]ページ

このセクションには、システムがホストするWebアプリケーションのリストが含まれます。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- **VMware Management Interface**
- **デフォルトWebサーバ**
- **HP Systems Insight Manager**

## [HP Systems Insight Manager]ページ

このセクションには、HP Systems Insight Managerによって生成されるリンクが含まれます。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- [データ収集レポート]リンクでは、個別のレポート結果ウィンドウにシステムのデータ収集レポートが表示されます。
- [システム プロトコル設定]リンクでは、[プロトコル設定]が表示され、この個別システムのみプロトコルを設定できます。
- [システム プロパティの編集]リンクでは、完全な設定権のあるユーザがシステム ページによって、1つのシステムのシステム プロパティの一部を再設定できます。このリンクは、完全な設定権のあるユーザのみに表示されます。
- [監視の停止/回復]リンクにより、監視の停止時間を設定できます。これにより、HP Systems Insight Managerのステータス ポーリング、識別、データ収集、および自動イベント処理からシステムを除外できます。停止時間の長さは、事前設定により、5分、15分、1時間、お

よび1日単位で設定できます。停止機能は、無期限に設定することもできます。完全な設定権があるユーザのみが、このリンクを使用できます。

## 関連トピック

- 概要
- システム ページ
- [識別]タブ
- [パフォーマンス]タブ
- [イベント]タブ

## [イベント]タブ

イベント テーブル ビュー ページは、共通検索基準に合致するイベントのリストです。たとえば、イベント 収集をイベント テーブル ビュー ページから[イベント タイプ]で開くと、同じイベントを生成したシステムを表示することができます。

イベント テーブル ビュー ページは、以下のセクションに分かれています。

1. イベント ステータスの凡例
2. イベント収集の列
3. イベントの詳細
4. イベント管理のボタン

すべてのイベント

イベントの詳細を表示するコマンド(イベント タイプ)の値が表示されているのを確認したのち、目的のリンクをクリックしてください。

サマリ: 0 クリティカル 0 メジャー 0 マイナー 0 警告 0 正常 172 情報 合計: 172

ステータス	優先度	イベント タイプ	システム名	イベント時刻	担当者	コメント
未確認	①	Discovered System	170.50.2.157	05/08/21 10:58		
未確認	①	Discovered System	jdota	05/08/21 10:58		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.150	05/08/21 10:56		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.143	05/08/21 10:56		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.140	05/08/21 10:56		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.129	05/08/21 10:55		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.126	05/08/21 10:54		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.116	05/08/21 10:54		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.120	05/08/21 10:53		
未確認	①	Discovered System	170.50.2.114	05/08/21 10:53		
未確認	①	Discovered System	GArdian01_8J1CHFS3K00L	05/08/21 10:53		
未確認	①	Discovered System	guardian01	05/08/21 10:53		
未確認	①	Discovered System	GArdian03_8J1CHFS3K00E	05/08/21 10:52		
未確認	①	Discovered System	guardian03	05/08/21 10:52		
未確認	①	Discovered System	insight2dc	05/08/21 10:51		
未確認	①	Discovered System	intrix1600	05/08/21 10:50		
未確認	①	Discovered System	perflex	05/08/21 10:50		
未確認	①	Discovered System	r1chw3n1	05/08/21 10:50		
未確認	①	Discovered System	r1chw3n2	05/08/21 10:50		

確認済み 削除 担当者... コメントの入力... 印刷

このページから、イベントの確認、削除、および割り当てに加えて、イベントに関するコメントを入力したり、印刷可能なレポートを表示したりすることができます。

## イベント ステータスの凡例

凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。

## イベントの詳細

以下の部分をクリックすると、イベント収集が表示されます。

- [システムおよびイベント]パネルのイベント収集
- システム ステータス パネルのイベント ステータス アイコン
- [システム ページ]の[このシステムに関連付けられたすべてのイベント]リンク
- プライベート イベント収集
- システム概要ページの[未確認イベント]セクションのハイパーリンク

イベント収集は、権限に基づいてフィルタリングされます。ユーザは、適切な権限を持つシステムのイベントだけを表示することができます。

HP Storage Essentialsがインストールされている場合は、このセクションのリンクから、HP Storage Essentialsの対応するイベント詳細を表示することができます。

## イベント収集の列

特定の列によって収集を並び替えることができます。列を並び替えるには、列見出しをクリックして昇順か降順に並び替えます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。以下を参照してください。

- 選択
- 状態
- 深刻度
- イベント タイプ
- システム名
- イベント時間
- 担当者
- コメント

### 選択

イベントを選択するには、この列のチェックボックスをオンにします。複数のイベントを選択できます。表示されるすべてのイベントの選択または選択解除を行うには、列見出しのチェックボックスを選択します。

### 状態

この列には、イベントが確認済み状態になっているかどうかが表示されます。イベントは、未確認状態から始まります。確認済み状態とは、ユーザがこのイベントに関心がなくなったことを表します。イベント状態には[進行中]も含まれます。[進行中]は、まだログに記録されていないイベント データがあることを示します。[進行中]状態のイベントは、削除することもクリ

アすることもできません。CMSを再起動すると、状態の確定していないすべてのイベントが「未確認」になります。

## 深刻度

この列にはイベント ステータス アイコンが表示され、イベントによって表現される問題の深刻度が表示されます。

## イベント タイプ

この列には、イベントのタイプが表示されます。SNMPトラップやログイン障害のほか、エージェント設定のレプリケートといったイベント タイプも示されます。[イベントの詳細]セクションを表示するには、リストからイベントタイプを選択します。表示される情報は、イベントによって異なります。列でイベントタイプの一部が隠れて見えない場合は、カーソルをこのフィールドの上に移動させると、イベント タイプ名全体を示すポップアップ ウィンドウが表示されます。

## システム名

この列は、イベントが発生したシステムの名前を表示します。この列のリンクをクリックすると、選択されているシステムの[システム ページ]が表示されます。

ラックまたはエンクロージャ全体に影響するイベントが発生すると、そのラックまたはエンクロージャ内の複数のシステムがそのイベントに関するトラップを生成することがあります。このコンテナトラップはフィルタリングされ、ラックまたはエンクロージャトラップごとに1つのイベントだけがログ記録されます。また、トラップの送信元がブレードサーバまたは管理プロセッサであっても、HP Systems Insight Managerは、必要に応じて、ログ記録されたイベントのイベント送信元および関連システムをラックまたはエンクロージャに設定します。

## イベント時間

この列は、CMSがこのイベントを受信した日時を示すタイムスタンプを表示します。システムがイベント時間（CMS時間）と異なるタイムゾーンにある場合、イベント時間は、システムのタイムゾーンに変換されます。

## 担当者

イベントの責任をユーザに割り当てるには、イベントを選択し、ページの下部にある担当者をクリックします。[担当者]セクションが表示されます。このセクションで、新しい担当者を選択して割り当てるか、既存の担当者を使用します。既存の担当者を使用する場合は、1つのユーザ名のみをリストから選択できます。ユーザ名には、システムで権限を持ったユーザやCMSにログイン可能なユーザの名前を指定する必要はありません。このフィールドは書式なしのテキストフィールドです。

## コメント

この列は、このイベントに関する既存のコメントを表示します。コメントが入力されていない場合は、空白になります。列の幅より長いコメントは、切り取られます。必要な場合はイベントタイプをクリックし、コメント全体を表示します。コメントフィールドの上にカーソルを重ねると、ポップアップ ウィンドウにコメント全体が表示されます。

## イベント管理のボタン

イベント テーブル ビュー ページの下部にある5つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。このページをどこからアクセスしたかによっては、これらのボタンが表示されない場合もあります。たとえば、タスクを作成してターゲットを選択した場合、表がシステム名のみが表示され、ボタンは表示されません。

- **確認済み**。このボタンは、1つまたは複数のイベントをデータベースで確認済み状態にするために使用します。クリアするイベントを選択し、**確認済み**をクリックします。
- **削除**。このボタンは、1つ以上のイベントをデータベースから削除する場合に使用します。削除するイベントを選択し、削除をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。削除を続けるには、**OK**をクリックします。削除をキャンセルするには、キャンセルをクリックします。
- **担当者**。このボタンは、イベントの権限を特定のユーザに割り当てる場合に使用します。
- **コメントの入力**。1つまたは複数のイベントに関するコメントを入力するためのダイアログボックスが表示されます。
- **印刷**。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]>[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

適切な権限がない場合は、ボタンが無効になります。ただし、[印刷]ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

## 関連プロシージャ

- [識別]タブ
- [パフォーマンス]タブ
- [ツール&リンク]タブ

## 関連トピック

- 概要
- システム ページ

## [パフォーマンス]タブ

このタブには、さまざまなセクションでブレードに関する以下のようなデータを表示する[パフォーマンス データ]テーブルがあります。

1. **CPU**
2. **論理ディスク**
3. **メモリ**
4. **Performance Management Pack (PMP)**

---

**注記:**

---



[パフォーマンス]タブでは、Windows中央管理サーバ (CMS) でのみ [Performance Management Pack (PMP)]サブ セクションが表示されま  
す。

5. [更新]リンク。[更新]リンクは、[パフォーマンス]タブで、**CPU**、メモリ、および論理ディ  
スク用に提供されています。これらのリンクは、相互に独立して更新することができま  
す。

---

**注記:**

---



このタブは、iLOファームウェア バージョンが1.75未満のベア メタル ブレード  
については表示されません。

---

## 関連トピック

- 概要
- システム ページ

---

# 用語集

HP Systems Insight Manager データベース(データベース)	ユーザ、システム、ツールボックスなど、HP Systems Insight Managerに関する、有効な情報を保存するデータベース。
Simple Network Management Protocol (SNMP)	HP Systems Insight Managerによってサポートされる管理プロトコルの1つ。ネットワーク システムとほとんどのサーバによって広く使用される、従来の管理プロトコル。MIB-2は、すべてのベンダに一貫して提供されている標準情報です。
イベント	<p>管理環境に何か変更があった場合に、特定ユーザに通知する情報。イベントはSNMPトラップから生成され、このリリースでは事前に設定されています。重要なイベントが発生すると、HP Systems Insight Managerはトラップを受信します。各イベントは、次のように定義されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>情報。</b> このタイプのイベントに注意する必要はなく、これらは、便利な情報として提供されます。</li><li>● <b>正常。</b> このイベントは問題ではありません。</li><li>● <b>マイナー。</b> このタイプのイベントは、さらに深刻な問題に発展する可能性のある警告ステータスを示します。</li><li>● <b>メジャー。</b> このタイプのイベントは、差し迫った障害を表します。</li><li>● <b>クリティカル。</b> このタイプのイベントは、障害が発生しており、すぐに対処する必要があることを示します。</li></ul>
インターネット プロトコル (IP)	ネットワーク上で送受信されるデータグラム (パケット) のフォーマットとアドレス指定スキーマを指定します。ほとんどのネットワークは、送信先と送信元の仮想接続を確立するTCP (Transmission Control Protocol) と、このIPを組み合わせています。
エンクロージャ	1組のブレード サーバを収納する物理的なコンテナ。エンクロージャは、電源と信号を供給するバックプレーンと配線や温度センサ用のその他のハードウェアから構成されます。CPUの電源やサーバの電源もホストします。
完全な設定権があるユーザ	CMSを含むすべてのシステムで[すべてのツール]ツールボックスの権限が自動的に与えられるユーザ。このタイプのユーザには、HP Systems Insight Managerソフトウェアを管理する、特別な権限が与えられます。
クリティカル ステータス	HP Systems Insight Managerが管理対象システムとやり取りできないときに生成される状態。
検出	ネットワーク オブジェクトを検索および識別する管理アプリケーションの機能。HPの管理アプリケーションでは、検出により、指定したネットワーク範囲にあるすべてのHP製システムが検索および識別されます。
コンテナ	ラックまたはエンクロージャは、コンテナと見なされます。 参照 エンクロージャ, ラック

識別	管理プロトコルとシステムのタイプを識別する検出プロセスの状況。
システム	TCP/IPまたはIPXを介して通信するネットワーク上のノード。システムを管理するには、あるタイプの管理プロトコル（SNMP、DMI、WBEMなど）がシステムに存在する必要があります。システムの例としては、サーバ、ワークステーション、デスクトップ、ハンドヘルド、ルーター、スイッチ、ハブ、およびゲートウェイがあります。
収集	システムやイベント検索をグループ化する方法。
中央管理サーバ (CMS)	HP Systems Insight Managerソフトウェアを実行する、管理ドメイン内のシステム。HP Systems Insight Manager内のすべての集中操作は、このシステムから開始されます。
デスクトップ管理インタフェース (DMI)	DMTFによって確立された、主にクライアント管理で使用される業界標準プロトコル。DMIは、クライアントシステムについての問題レポートを効率的な方法で提供します。DMI準拠のコンピュータは、ネットワーク上の中央管理システムにステータス情報を送信できます。
ドメイン ネーム サービス (DNS)	ドメイン名をIPアドレスに変換するサービス。
バージョン コントロール エージェント (VCA)	サーバにインストールし、サーバにインストールされているHP製ソフトウェアを確認するためのエージェント。バージョン コントロール レポジトリ マネージャ エージェントをポイントするようにバージョン コントロール エージェントを設定すると、バージョンを簡単に比較したり、レポジトリからソフトウェアを更新したりできるようになります。
ハードウェア ステータス	<p>SNMPベースのシステムの操作ステータス。ハードウェア ステータスは、システムからのポーリングSNMP情報によって判断されます。ステータスは、次のように定義されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>クリティカル。</b> HP Systems Insight Managerがシステムとやり取りできなくなっています。このシステムは以前検出されていましたが、現在はpingできません。システムが停止しているか、電源が切れているか、ネットワークの問題のためにネットワーク経由でアクセスできなくなっています。</li><li>● <b>メジャー。</b> 問題が発生しています。</li><li>● <b>マイナー。</b> 機能しているが、エラーが発生しています。</li><li>● <b>正常。</b> システムは正常に機能しています。</li><li>● <b>不明。</b> HP Systems Insight Managerが、システムに関する管理情報を取得できません。</li></ul> <p>● <b>無効。</b></p>
不明ステータス	HP Systems Insight Managerが、SNMPまたはDMIを使用して、システムに関する管理情報を取得できません。管理関連情報は取得できませんが、システムに対してpingを実行できます。コ

	コミュニティ名またはセキュリティの設定が間違っている可能性があります。
ブレード サーバ	ラックまたはエンクロージャに搭載されているサーバ。 参照 エンクロージャ, ラック
マイナー ステータス	システムから収集された統計ステータス情報であり、監視対象サブシステムの1つ以上が正しく動作せず、システムに影響を与えていることを示します。これ以上のエラーが発生することを回避するために、できるだけ早く対処する必要があります。
未確認イベント ステータス	深刻度が、クリティカル、メジャー、マイナー、正常、情報になっているイベント。 <ul style="list-style-type: none"><li>● クリティカル。 障害が発生し、すぐに対応する必要があります。</li><li>● メジャー。 近いうちに障害が発生します。</li><li>● マイナー。 さらに深刻な問題に発展する可能性のある警告ステータスです。</li><li>● 正常。 このイベントは問題ではありません。</li><li>● 情報。 注意する必要はありません。これは便利な情報として提供されます。</li></ul>
メジャー ステータス	システムから収集された統計ステータス情報であり、監視対象サブシステムの1つ以上が正しく動作せず、システムに影響を与えていることを示します。このステータスにはすぐに対処する必要があります。
ユーザ	HP Systems Insight Managerに追加されているCMSで有効なロケインがあるネットワーク ユーザ。
ラック	相互に通信するために配線されたコンポーネントのセット。ラックはエンクロージャのためのコンテナです。

---

# 索引

## C

CCIブレードPC, 22

## E

e-Classエンクロージャ, 22

e-Classサーバ ブレード, 22

e-Classラック, 19

## H

HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem

Integrated Manager

アクセス, 6

## I

Integrated Administrator, 22

## あ

アイコン ビュー, 6, 11

アクセス

HP BladeSystem Integrated Manager, 6

## い

イベント タブ, 28

イベント テーブル ビュー ページ, 24

インターコネクト スイッチ, 22

## え

エンクロージャ, 28, 31

エンクロージャ ビュー, 22

## さ

サーバ

[識別]タブ, 24

## し

[識別]タブ, 24

システム テーブル ビュー ページ, 24

システム ページ, 24

イベント, 24

[識別], 24

[ツール&リンク], 27

リンク, 24

商標, 4

新機能, 6

## そ

操作, 31

イベント テーブル ビュー ページ, 28

## ち

著作権, 4

## つ

ツリー ビュー, 6, 8

## て

テーブル ビュー, 6, 13

## は

[パフォーマンス]タブ, 31

## ふ

ブレード, 28, 31

## ほ

法的な注意事項, 4

保証, 4

## ら

ラック, 28, 31

ラック ビュー, 19

## り

リリース履歴, 4